

基本情報

指標番号

0684

名称

帝王切開術における全身麻酔以外の割合

分母

帝王切開術を受けた症例

分子

分母のうち、全身麻酔以外の症例

指標群

周産期系

意義

帝王切開のときの麻酔は、全身麻酔よりも硬膜外麻酔や脊椎麻酔などのほうが母児ともに安全である。

年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

必要データセット

DPC 様式1

指標の定義算出方法

分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、帝王切開術を受けた症例。手術情報の点数コードのいずれか（5フィールド）に以下のいずれかが含まれる症例

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
K898\$	帝王切開術	○	○	○	○	○	○	○

3. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義

1. 当該手術において全身麻酔以外の症例 分母で帝王切開術を同定した手術情報に対応する麻酔が（5.手術情報の(3)点数表コードに K898\$が入力されていれば、(7)麻酔を参照する）以下のいずれかである症例。 2. 硬膜外麻酔、3. 脊椎麻酔、4. 静脈麻酔、5. 局所麻酔、7. その他、9. 無

その他

薬剤一覧の出力

いいえ

リスク調整因子の条件

指標の算出方法

分子÷分母

指標の単位

パーセント

結果提示時の並び順

降順

測定上の限界・解釈上の注意

1. ハイリスク分娩には全身麻酔をすることがあり得るため、そのような症例を多く受け入れる施設では指標が低く算出される可能性がある。

参考資料

参考値

1. 達成率が高く、病院間差が少ない（QIP）

参考資料

1. Australian Council on Healthcare Standards (ACHS). ACHS clinical indicator users' manual 2011. ULTIMO NSW: Australian Council on Healthcare Standards (ACHS); 2011 Jan. Hawkins JL, Koonin LM, Palmer SK, Gibbs CP. Anesthesia-related deaths during obstetric delivery in the United States, 1979-1990. Anesthesiology 1997 Feb;86(2):277-84.